

シルバー かわごえ

第132号

令和4年(2022年)7月15日発行

公益社団法人

川越市シルバー人材センター

〒350-0824 川越市石原町2-33-13

TEL: 049 (222) 2075

FAX: 049 (222) 8973

URL: <https://webc.sjc.ne.jp/kawagoe/index>



祝川越市制施行百周年

祝川越市制施行百周年

定時総会

職場めぐり

元気でがんばってます

川越ぶらぶら歩き

アートギャラリー

同好会活動・新同好会の案内

(写真：川越氷川神社)

令和4年度 定時総会開く

今年も昨年同様に新型コロナウイルスの感染防止のため、会員皆様には来場を極力お控えいただくように要請して、去る6月24日(金)午後1時に、ウェスタ川越大ホールにおいて定時総会を開催しました。

齊藤理事の司会のもと、開会にあたり、会員物故者に対して、全員で黙とうを行いました。

今回も来賓招待や表彰式は取り止めたことから、千代田理事長の挨拶のあと、定時総会の議長を矢野理事が、定款の定めに従って議事に入りました。

はじめに、事務局より会員数2,164名のうち総会出席者が1,855名(うち委任状1,771名)との報告があり、議長が定足数の充足宣言を行いました。

理事長などを選任

総会後に開催された理事会において、荻島徹夫理事長(代表理事)、中村功副理事長(代表理事)、小室利正専務理事(業務執行理事)が選任され、それぞれ就任いたしました。

新三役



荻島 徹夫
理事長
(代表理事)



中村 功
副理事長
(代表理事)



小室 利正
専務理事
(業務執行理事)



そして、報告事項(①監査報告、②令和3年度事業報告、③令和4年度事業計画及び収支予算報告)が報告され、引き続き議決事項(①令和3年度貸借対照表及び損益計算書【正味財産増減計算書】の承認の件、②理事15名の選任の件、③監事2名の選任の件)の提案の後、質疑応答を経て、すべての議案は提案どおり決議されました。

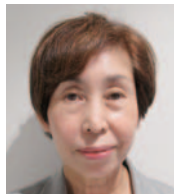
議事終了後、司会の齊藤理事が今総会をもって退任する理事5名と監事1名を紹介し、退任する役員を代表して千代田理事長から退任の挨拶がありました。

最後に、佐々木副理事長の閉会の言葉があり、定時総会は午後2時38分に終了しました。

なお、定時総会の報告事項や議決事項の質問は、特にありませんでしたが、『インボイス制度』の導入に伴う会員への影響を心配して、この件に関する情報提供を希望する旨の要望がありました。この件については、荻島専務理事から、動きがあり次第、逐次情報提供していくと回答しました。



新任役員



加賀谷 八重子
理事



小高 文雄
理事



芳賀 久
理事



小林 一英
理事



浜松 眞
理事



西川 正純
監事

【理事長挨拶】



千代田 隆雄
理事長

今年度の定時総会につきましては、当初通常の開催を考えておりましたが、会員皆様の健康面を考慮して、残念ではありますが、委任状の提出をいただき、できる限り出席を控えていただく形で開催することといたしました。

また、ご来賓の方々の招待や、表彰式も取りやめて開催することといたしました。ご理解の程よろしくお願いたします。

さて、わが国では総人口の減少が続き、少子高齢化が急速に進む中、10年後には人口の3分の1を高齢者が占める超高齢社会が目前に迫っております。生産活動の中心となるべき若い世代が大幅に減少しており、多くの業種にわたって人手不足が深刻化しております。元気な高齢者が積極的に就業することにより、経済活動や社会生活の発展に寄与していくことは、今後益々重要になっていくものと考えております。

私どものシルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念を掲げ、高齢者の知識や技能を活かし、就業やボランティア活動を通じて、地域社会に貢献する活動をしています。高齢者に生きがいの充実ややりがいを提供していくシルバー人材センターの責務として今後も活動を続けてまいります。

ここで、令和3年度の結果と令和4年度の計画などについてお話させていただきます。

令和3年度は中期5ヵ年計画の初年度でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、その影響を強く懸念される中、センター事業は、業務の一部停止や内容変更を余儀なくされました。また、令和3年度の決算につきましては、会員皆様の協力をいただきながら事業を進めた結果、公共業務や民間業務の契約額減少が予想される中、契約額では前年度対比で3.7%減の8億6900万円、収支状況では800万円のマイナスで終わることとなりました。

諸課題が山積する中、令和4年度の活動につきましては、大きな変更はなく、中期5ヵ年計画の推進と合わせ、次の4項目の重点実施事業を掲げ、目標の達成に向け努力していきます。

- ①会員の増強
- ②就業機会の拡大
- ③安全・適正就業の徹底
- ④地域活動の強化と組織体制の充実

そして課題としては、インボイス制度が来年10月から導入され、センターにとって非常に大きな課題となっております。センターのとるべき対応については決まっておりますが、決定した事柄についてはその都度報告いたします。

結びにあたり、今後の川越市シルバー人材センターの更なる発展とご出席の会員皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。開会にあたっての挨拶といたします。

選任された役員

理事	荻島 徹夫	再任
理事	斎藤 八重子 (福原地区)	再任
理事	浅川 規子 (東地区)	再任
理事	小室 利正 (西地区)	再任
理事	中村 功 (北・山田地区)	再任
理事	矢野 博幸 (南地区)	再任
理事	山本 勲 (芳野・古谷地区)	再任
理事	加賀谷 八重子 (名細地区)	新任
理事	小高 文雄 (南古谷地区)	新任
理事	芳賀 久 (大東地区)	新任
理事	小林 一英 (霞ヶ関地区)	新任
理事	浜松 眞 (高階地区)	新任
理事	鹿倉 隆	再任
理事	近藤 正広	再任
理事	佐藤 敦弘	再任
監事	坂口 純一	再任
監事	西川 正純	新任

※カッコ内は担当地区

退任役員

定時総会で任期満了に伴い退任された役員は次の各氏です。長い間ご苦勞さまでした。

- 千代田隆雄 ●佐々木建夫
- 藤原孝四郎 ●一瀬 公人
- 目崎 景子 ●西川 孝博

職場めぐり

今回訪問した職場は、市内で名刹の「蓮馨寺」です。

ここでは、「駐車場整理業務」「境内清掃業務」「和順会館除草業務」の3部署でシルバーの会員が就業していますが、実際に働いている現場の声をご紹介しますため、下記の4点について、それぞれお話を伺いました。

- Q1 今の仕事はどのような内容ですか？
- Q2 仕事をしていて、楽しいのはどんなことですか？
- Q3 仕事上で、困ったことや苦労したことがありますか？
- Q4 他のシルバー会員に伝えたいことがありますか？

孤峰山 蓮馨寺

蓮馨寺は、室町時代に創建された徳川家ゆかりの歴史ある浄土宗の寺で、川越城主の母、蓮馨大姉が、民衆に安らぎをもたらすために建てた寺です。

毎月8日は、子育て、安産をはじめ人々の願いを叶える仏様として人気がある呑龍上人（どんりゅうしょうにん）の縁日「呑龍デー」が開かれ、参詣者で賑わいます。



駐車場整理業務



- A1 就業日は土曜日、日曜日、祝日で、就業時間は2人体制により、午前（9：00～12：30）と午後（12：30～16：00）に分かれて就業しています。
- A2 季節によっては就業が大変な時もありますが、駐車場を喜んで利用してもらえるように心がけています。
- A3 屋外での仕事なので、雨の日の案内や、暑さ寒さの厳しい日の体調管理には十分気をつけています。
- A4 就業に際しては、自転車での事故には気をつけてください。特に自動車には注意し、急がず焦らずゆっくり走りましょう。

元気で
がんばってます!!



山田2班
鹿熊 智和さん

私は、子どもの頃から機械いじりが好きで、自転車やおもちゃなどを分解したり、組み立て直したりしていました。15年前になりますが、シルバーに入会し、得意な機械整備の技能を生かせる仕事を探していたところ、放棄自転車を整備し、リサイクル自転車として提供する仕事を紹介してもらうことができました。

今は、作業場である環境プラザのつばさ館に月7回、1日6時間ほど就業し、数名の仲間と交代で安全重視の作業を行っています。好きな仕

事ですので、楽しいことが多く、辛いと感じることはあまりありません。また、おもちゃの病院にもボランティアで参加しています。直ったおもちゃに飛び上がって喜ぶ子どもの姿がうれしくて、おもちゃ修理も自分の生きがいとなっています。

好きな機械いじりが健康のもとですが、他にバランスの取れた食事と十分な睡眠を心がけています。これからは身体が健康な限り、自転車整備とおもちゃ修理の仕事を続けていきたいと思っています。

境内清掃業務



- A1** 境内の清掃作業、朝夕の鍵の開け閉め、午後3時の鐘撞き、曜日によりゴミ出しなどを行っています。就業日は月に5～6日で、就業時間は8：00～17：00です。
- A2** 清掃作業中に「ご苦労様です」「ありがとうございます」などと声をかけていただいた時は、やりがいを感じます。
- A3** この仕事に就いてまだ半年なので、お寺の行事やイベントなど分からないことが多くあり、対応に戸惑うことがあります。
- A4** 今までしてきた仕事とは全く違う仕事をするのも、良い経験になると思います。

和順会館除草業務



- A1** 就業は週1回で、8：30～10：30の2時間、会館敷地内の庭を中心に、除草作業をしています。
- A2** 1人での作業なので、季節によって就業時間を多少調整できるのが良いと思います。（冬場は9：00～11：00）
- A3** 除草剤は使用できないので、こけの中に生える小さい草を取るのが大変です。また、秋の落ち葉や春の桜の花びらが多く散る時期は、手間がかかって大変です。
- A4** 特にありませんが、他所で就業している皆さんも健康に留意してください。

元気で
がんばってます!!



南5班
加藤 康子さん

これから先の生きがいや少しでも社会貢献につながればという思いで、シルバーに入会して13年になります。今の仕事は「児童通学案内業務」で、就業場所が自宅に近く、子ども好きの私に向いていると思っています。

朝7時前、駅で子ども達を迎えてバス乗り場まで送り届け、下校時には学校から駅まで送り届けます。大事なお子さんをお預かりしているという思いで、常に気を配って就業しています。

父母の皆さんから「シルバーさんが見守ってくれるので安心です」とい

う声をいただくとうれしくなり、またパワーあふれる子ども達に接していると私の方が逆に元気をもらい、頑張ろうという気持ちが湧いてきます。

朝が早く毎日の仕事なので、常に健康には気をつけて、十分な睡眠をとるよう心がけています。特に食事には、趣味のベランダ菜園で採れた新鮮な野菜を食べてリフレッシュしています。

これからも子ども達からパワーをもらいながら、就業仲間と食べ歩きや旅行を楽しみつつ充実した日を送っていきたいと思います。

川越ぶらぶら歩き

新河岸川舟運 教策



今回は、江戸時代に幕府の開府により、急速に百万都市に発展した江戸の繁栄と川越の共栄を支えた新河岸川舟運の見所を紹介します。

この舟運は寛永15年の川越大火により焼失した喜多院等の復興を目的として、最初に「寺尾河岸」が開港し、その後、「上新河岸」、「下新河岸」、「牛子河岸」の開港が続き、江戸振袖火事の復興支援で「扇河岸」と順次開港しました。そして明治になると、町中心部に近い「仙波河岸」が開港し、繁栄のピークを迎えました。

しかし、昭和初期には陸上運送の近代化により舟運の必要性が薄れ、さらに川の治水施策が優先されたことで舟運の幕引きとなり、新河岸川の舟運の史跡はかなり失われてしまい、現在に至っています。

■出発点…新河岸駅

橋上駅舎の「新河岸駅」東西自由通路の改札口正面に「早船広告のパネル①」が展示されています。東口側に出ると舟問屋を模した「新河岸駅舎②」が見られます。

■砂氷川神社

言い伝えによると「砂氷川神社③」は延享元年（1744年）の創建とされています。延享元年は、未曾有といわれる寛保二年の大洪水の2年後に当たり、水害に困弊した人々が川を鎮めるために、川の神である氷川神社を村内で最も高い丘陵上に奉祭したのが始まりとされています。

■上新河岸

砂氷川神社の「正面道路④」には、「上新河岸」設立の貢献者である吉田甚右衛門の「供養地蔵⑤」が祀られています。

■下新河岸・寺尾河岸

旭橋の道路両側は最も舟問屋が多かった所で、旭橋のたもとは「新河岸川舟運記念碑⑥」が昔からあった柳と一緒に建っています。下流方向は「寺尾河岸」があったところで、当時の新河岸川の雰囲気を残しています。

■日枝神社

明治5年に村社となった「日枝神社⑦」は、後に「巖島神社」、「水神社」、「琴平神社」を合祀し、舟運で運ばれた「石碑⑧」も多数奉納されています。裏の道に出ると当時の舟問屋「伊勢安⑨」が民家として昔のまま残されています。

■牛子河岸・扇河岸

旭橋の対岸が「牛子河岸」で、土手に沿って上流に10分程歩くと、扇橋手前の左側に「扇河岸跡」が望めます。



① 早船広告のパネル



② 新河岸駅舎（東口）



文・写真：観光ガイドグループ 和田行雄



⑦ 日枝神社



⑧ 舟運で運ばれた石碑



③ 砂氷川神社



④ 神社正面の道路



⑤ 供養地蔵



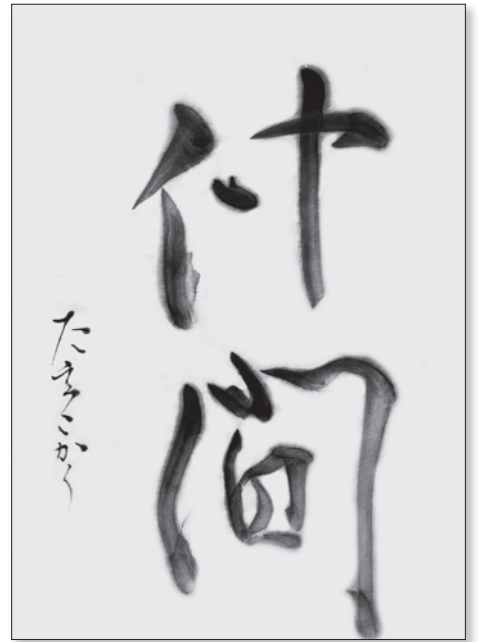
⑥ 舟運記念碑



⑨ 旧舟問屋・伊勢安



書「仲間」
▶高階4班 渡辺 妙子



絵てがみ「トウモロコシ」▲南4班 斎藤 八重子



水彩画「白馬の雪」▲霞ヶ関3班 今西 敏雄



ブローチ・ネックレス▲名細7班 目崎 景子



貼り絵「池の静まり」▲霞ヶ関1班 佐々木 信子



写真「花菖蒲」▲霞ヶ関6班 荻原 哲郎

このコーナーの作品を募集しています

- 募集内容 ●写真 ●絵画・スケッチ ●書道 ●絵てがみ ●短歌・川柳 ●パズル・数独 ●手芸作品 他
- 締切日等 ●次号（第133号）の掲載締切日は**11月30日**です。詳細は事務局までお問い合わせください。

歴史探訪の会

平成23年に発足し、10年経ちました。コロナ禍で2年ほど活動を休んでいましたが、今年度より活動を再開し、6月8日(水)に参加者15名と「埼玉県立川の博物館(かわはく)」へ行きました。職員の説明で、荒川の歴史や水の活用など大変勉強になりました。館内のレストランで食事をし、楽しい一日を過ごしました。

- 名称 歴史探訪の会
- 目的 ①名所・旧跡を巡り知識や見聞を広め、楽しむ。
②歩くことで健康増進を目指す。
③会員同士の親睦を深め、助け合う。
- 活動年 年に6回
- 会費 年会費 3,000円
*交通費、食事代、入館料等は個人負担
- 会員数 35名 *新会員を募集中
- 活動内容 埼玉県内とその周辺で、公共交通機関を利用して日帰りで行ける場所で活動。



「かわはく」の大水車前で



「徳川慶喜公の廟所」前で(平成26年1月)

KSC将棋同好会を発足します

新規会員募集

今般、将棋同好会を発足する運びとなり、新規参加会員を募集しています。将棋を通じて人と人のふれあい及び親睦を目的としています。認知症予防に効果的な脳トレの一環として、初心者も経験者も私たちと一緒に将棋を楽しみませんか? 初めから正式に入会する必要はありません。まずは、体験入会(ルール勉強やお試し対局)も大歓迎です。

- ◆名称 KSC将棋同好会(川越市シルバー人材センター将棋同好会)
- ◆活動予定 月2、3回程度(活動日時は、後日決定)
- ◆活動場所 川越市北部地域ふれあいセンター会議室
- ◆活動開始 メンバーが集まり次第、活動日時等を調整して開始
- ◆会費 年会費 3,000円、入会金1,000円を予定
- ◆世話人 永島 浩、古市 順夫



■問い合わせ先：川越市シルバー人材センター 事務局 TEL：049(222)2075

編集後記

「オールカラー刷りの会報」となり3回目の発行を迎えました。本誌4～5ページの「職場めぐり」は好評のためシリーズ化していく予定です。皆様の職場へ取材に伺い、お話を聞き、働いている様子を紹介していきます。取材を希望される職場の方はお問い合わせください。今年には例年のない酷暑となるそうです。万全の体調管理と熱中症対策、そしてフレイル予防に心がけて暑い夏を乗り切りましょう。(浅川)